

# パキロビッドパックによる治療を受ける 患者さん・患者さん ご家族の方へ

## 新型コロナウイルス感染症について

「新型コロナウイルス感染症」は、コロナウイルスと呼ばれるウイルスの一種である「SARS-CoV-2」によって引き起こされる感染症です（別名COVID-19と呼ばれています）。症状としては、発熱、呼吸器症状（咳や咽頭痛）、倦怠感、頭痛などが多く見られます。変異株の種類により重症化割合は異なるものの、多くの患者さん（約80%）は、発症から1週間程度で回復すると報告されていますが、一部（約15%）の患者さんでは、発症から1週間程度で酸素投与が必要となり、さらに発症から10日目以降に集中治療室での治療が必要になるなど重症化する方もいます。一般的には、感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）や接触により感染しますが、咳やくしゃみなどの症状がなくても、人に感染させてしまう可能性もあります。

## パキロビッドパックの成分と効果

本剤は、新型コロナウイルス感染症の治療薬で、ニルマトレルビルとリトナビルを組み合わせた薬剤です。ニルマトレルビルは、ウイルスの増殖に必要な酵素の作用を阻害します。リトナビルは、ニルマトレルビルの体内での代謝（分解）を遅らせ、ウイルスに作用する血中濃度にするために併用します。

## パキロビッドパックの服用方法

- 本剤は通常、成人および12歳以上かつ体重40kg以上の小児に、ニルマトレルビル1回2錠、リトナビル1回1錠を同時に1日2回(朝・夕)、5日間経口投与します。
- 食事の有無にかかわらず服用できます。
- 決して2回分を1度に飲まないでください。飲み忘れに気が付いた場合には、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、1回飛ばして次の時間に1回分を飲んでください。
- 万が一、薬が残ってしまった場合でも、絶対に他の人に譲らないでください。
- 症状が良くなった場合でも5日間飲み切ってください。
- 副作用等で中止する場合には、医師、看護師または薬剤師に相談してください。

## パキロビッドパックを服用する前に確認すること

### 1 以下の患者さんは本剤を使用できません

- 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 腎臓または肝臓に障害のある患者でコルヒチンを使用している患者
- 次の薬剤を投与中の患者
  - 抗結核薬：リファブチン(ミコブチン)、リファンピシン(リファジン)
  - 抗真菌薬：ボリコナゾール(ブイフェンド)
  - 抗悪性腫瘍薬：ベネトクラクス(再発または難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の用量漸増期)(ベネクレクスタ)、アパルタミド(アーリーダ)
  - 癌悪液質治療薬：アナモレリン塩酸塩(エドルミズ)
  - 高脂血症治療薬：ロミタピド(ジャクスタピッド)
  - 子宮収縮薬：エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン(パルタン)
  - 抗凝固薬：リバーロキサバン(イグザレルト)
  - 抗血小板薬：チカグレロル(ブリリント)

- 降圧薬：オルメサルタンメドキシソミル・アゼルニジピン(レザルタス配合錠)、エプレレノン(セララ)、アゼルニジピン(カルブロック)
- 抗不整脈薬：アミオダロン(アンカロン)、ベプリジル(ベプリコール)、フレカイニド(タンボコール)、プロパフェノン(プロノン)、キニジン
- 心不全治療薬：イバブラジン塩酸塩(コララン)
- 肺高血圧症治療薬：シルデナフィル(レバチオ)、タダラフィル(アドシルカ)
- 過敏性腸症候群治療薬：メペンゾラート臭化物・フェノバルビタール(トランコロンP配合錠)
- 抗精神病薬：ブロナンセリン(ロナセン)、ルラシドン(ラツータ)、ピモジド
- 抗不安薬/催眠鎮静薬：スポレキサント(ベルソムラ)、クロラゼパ酸二カリウム(メンドン)、エスタゾラム(ユーロジン)、フルラゼパム(ダルメート)、トリアゾラム(ハルシオン)
- 麻酔薬/抗てんかん薬：ミダゾラム(ドルミカム、ミダフレッサ)
- 抗不安薬/抗てんかん薬：ジアゼパム(セルシン、ホリゾン)
- 抗てんかん薬：カルバマゼピン(テグレートール)、フェノバルビタール(フェノバル)、フェニトイン(ヒダントール、アレビアチン)、ホスフェニトイン(ホストイン)
- 頭痛治療薬：エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン(クリアミン)
- 片頭痛治療薬：エレクトリプタン(レルパックス)、ジヒドロエルゴタミン
- 糖尿病合併慢性腎臓病治療薬：フィネレノン(ケレンディア)
- 勃起不全改善薬：バルデナフィル(レビトラ)
- セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品<sup>\*1</sup>

\*1 ハーブティーやサプリメントなどに含まれていることがあります

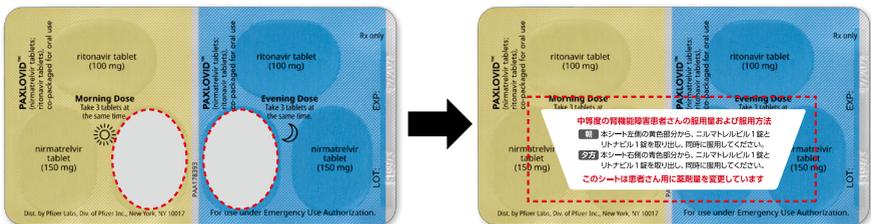
## 2 パキロビッドパックと一緒に服用する時に注意が必要な薬剤

本剤には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や新たに使用する場合は、必ず医師、看護師または薬剤師に相談してください。

## 3 腎機能に障害がある患者さん

中等度(eGFR<sup>\*2</sup>: 30mL/min以上60mL/min未満)の腎機能障害のある患者に対しては、ニルマトレルビルを減量し、ニルマトレルビル1回1錠、リトナビル1回1錠を同時に1日2回(朝・夕)、5日間経口投与となります。重度(eGFR<sup>\*2</sup>: 30mL/min未満)の腎機能障害のある患者には本剤の投与は推奨されません。

腎機能に障害がある患者さんは医師、看護師または薬剤師に相談してください。また、過去に腎機能障害を指摘された方も、そのことを医師、看護師または薬剤師に伝えてください。医師がニルマトレルビルの減量が必要と判断した場合には、不要な錠剤を取り除いたシートが渡されます。取り除かれた部分にシールが貼られます。(下図の点線赤枠部)



\*2 推算糸球体ろ過値(estimated glomerular filtration rate): 血清クレアチニン値、年齢、性別から推算するもので、腎臓の機能を表す値として使用されています。90mL/minを超える数値が正常値または高値になります。

## 4 服用に際して注意が必要な患者さん

以下の方は服用に注意しなくてはならないことがありますので、医師、看護師または薬剤師に相談してください。

- HIV感染患者
- 肝機能が低下している方
- 妊婦・授乳婦

## 予想される副作用について

本剤が発売されてから国内外で得られた情報および本剤の成分であるリトナビルにおいて、以下の重大な副作用が報告されています。これら重大な副作用で認められる主な自覚症状のうち、いくつかの症状は同時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師、看護師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
かんきのうしょうがい 肝機能障害	疲れやすい、体がだるい、力がはまらない、吐き気、食欲不振
ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう 中毒性表皮壊死融解症 (TEN)	皮膚が広い範囲で赤くなり破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
ひふねままくがんしょうこうぐん 皮膚粘膜眼症候群 スティーフンス-ジョンソンしょうこうぐん (Stevens-Johnson症候群)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸(どうき)、息苦しい

また、本剤の臨床試験および本剤が発売されてから国内外で得られた情報において、以下の副作用が報告されています。

・ 過敏症*3 ・ 味覚不全 ・ めまい ・ 高血圧 ・ 下痢	・ 悪心 ・ 嘔吐 ・ 消化不良 ・ 胃食道逆流性疾病 ・ 腹痛	・ 肝機能検査値異常 ・ 発疹 ・ 筋肉痛 ・ 倦怠感 ・ 頭痛
---	--	--

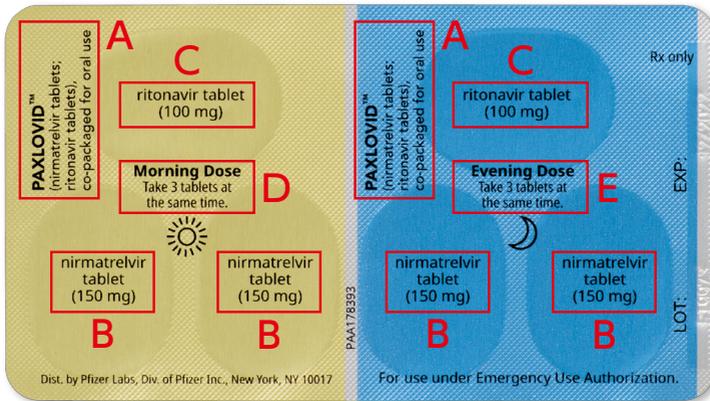
\*3 過敏症の症状：じんま疹、そう痒症、紅斑、咽喉絞扼感(いんこうこうやくかん)、血管性浮腫

まだ知られていない副作用があらわれる可能性もありますので、本剤服用後に何らかの異常を感じたり、気になったりすることがあれば、医師、看護師または薬剤師にご相談ください。

# パキロビッドパックの保存方法について

室温で光の当たらないところに保管してください。

## シートに記載されている英語の日本語訳



- A パキロビッドパック(ニルマトレルビル錠/リトナビル錠)経口用
- B ニルマトレルビル錠(150mg)
- C リトナビル錠(100mg)
- D 朝服用分同時に3錠を服用
- E 夕方服用分同時に3錠を服用



シートから錠剤をおしだして  
服用ください

